

ほくほくフィナンシャルグループ

1.北海道内店舗網の再構築



北海道銀行 創成支店

17年4月11日の北海道銀行光星出張所の移転に伴い、17年5月23日に同所跡地に北陸銀行苗穂支店が移転し、17年12月12日に同支店跡地に北海道銀行創成支店が移転しました。

北海道内においては、北陸銀行、北海道銀行の2ブランドを最大限活用してお客さまとのお取引を拡大させていく方針であります。この前提のもと、今後とも効果的かつ効率的な店舗配置を進めてまいります。

2.劣後特約付社債の発行

17年3月の第1回債に続き、17年9月28日に第2回期限前償還条項付無担保社債を200億円発行いたしました。資金は、北陸銀行および北海道銀行への劣後貸付金に充当いたしました。

3.システム共同利用に向けて

ITの戦略的な活用により、優れたサービスを迅速に提供することが金融機関にとって重要な課題となっております。

当社グループにおいても、業務の効率化、営業力および経営管理態勢の強化等を図り、統合効果を最大限に発揮すべくシステム統合についての検討を進めてまいりました。

こうしたなか、北陸銀行、北海道銀行、横浜銀行の3行は、17年11月24日に、システム共同利用に関する検討を行うことで基本合意し、18年3月24日には、システム共同利用に関する基本契約を締結いたしました。

今後は、共同利用行による「システム協議会」を設置して、共同開発・共同利用に関し、さらに具体的な協議をすすめ、22年1月以降、順次、新システムに移行していく計画です。

これにより、当社グループのシステム統合が実現し、より一層のシステム機能の強化および高度化を図ることができるものと考えております。

4.横浜銀行との業務提携

18年3月24日に、北陸銀行と北海道銀行は、横浜銀行との間で、相互のATM(現金自動預払機)を利用して、預金の引き出しをする際の「他行利用手数料」の無料化を実施するほか、国内での営業情報提供業務およびお取引先のアジア地域への進出支援業務について提携することで合意いたしました。

各行のお取引先に対し、新たな販売先・仕入先の開拓、新製品開発や異業種進出などの事業ニーズや、中国および東南アジアへの進出ニーズにお応えするためのサポートを展開してまいります。

5.「YOSAKOIソーラン祭り」への参加

初出場の昨年に引き続き、18年6月7日から5日間にわたり札幌市で開催された「第15回YOSAKOIソーラン祭り」に参加いたしました。

今回で10回目の出場を誇る老舗チーム「北海あほんだら会」のご支援をいただき、合同チーム「北海あほんだら会&ほくほくFG」として、出場350チームの中でも最大級の規模を誇る総勢約140名が勇壮な演舞を披露いたしました。全国各地から集まった参加者、観客のみなさまとともに祭りを楽しみ、達成感、一体感を共有することができました。



1. 海外進出支援体制の拡充

18年2月13日、ASEANに進出している北陸銀行と北海道銀行のお取引先企業のビジネス拡大を支援する会員組織「ほくほくASEAN会」をシンガポールに設立いたしました。業務提携先のタイ国カシコン銀行とも連携し、会員相互間や各国政府の投資促進機関とのネットワーク構築など、ASEAN進出企業に対し、より迅速で有効な支援体制の整備を図ってまいります。



また、中国上海市人民政府対外経済貿易委員会 とうけいふく 湯慶福副主任を富山市に迎えて、ほくほくフィナンシャルグループと上海市人民政府が経済交流覚書を締結いたしました。上海市は、中国国内でも北陸銀行のお取引先がもっとも多く進出していますが、当対外経済貿易委員会は、外国企業の上海への投資について許認可権を持った上部組織であり、今回の覚書締結により、取引先への対中国ビジネス支援は一層の充実が図れることとなります。なお、上海市人民政府の上級部門である同委員会と覚書を締結するのは地方銀行では初めてとなります。

2. 高山信用金庫と自動機(CD、ATM)相互無料開放を実施

江戸時代から、文化・経済はもとより、人的交流も盛んで密接な関係にある高山市に本店を置く高山信用金庫と18年2月1日から自動機(CD、ATM)の相互無料開放を実施しております。

今回の自動機の相互開放は、心の通う顧客サービスとして地域の連携と生活圏の拡充につなげるものです。

3. 「ほくぎんどリームセンター 武蔵」がオープン

18年6月5日、金沢市内に北陸銀行初の資産運用とローンプラザの複合専門店「ほくぎんどリームセンター武蔵」を開設しました。ローンプラザ機能に加え、多様化する資産運用ニーズにお応えできる新しい形態の専門店となります。

店内にはブース型のカウンターと応接スペースを配置するとともに「キッズコーナー」も設け、ご来店されるお客さまにくつろいでご相談いただける店舗としております。



4. 新型住宅ローンを相次ぎ発売



17年10月、従来の「ガン」保障に加え、「脳卒中(脳内出血、脳梗塞、くも膜下出血)」や「急性心筋梗塞」と診断された場合についても、支払われる保険金によりローン残高がゼロ(100%保障)となる画期的な「三大疾病保障」住宅ローンを発売いたしました。18年1月には金利上昇に伴う返済負担リスクを限定した住宅ローン「夢ホーム《ブロックポイント》」を発売いたしました。

また、18年4月には働く女性を応援する女性専用住宅ローン「夢ホーム《VENUS》ビナス」の取り扱いを開始いたしました。万一の失業にも安心な失業信用費用保険がセットされ、繰上返済(1回当たり50万円以上)時の手数料も免除するなど、働く女性を力強くバックアップする住宅ローンです。

北陸銀行

5.岩瀬支店を明治時代の旧商家風に改装

富山市の事業として伝統家屋の復元が進んでいる北前船の寄港で栄えた富山市岩瀬地区で、明治33年3月に岩瀬銀行本店として営業を開始した岩瀬支店を明治時代の旧商家風に改装しました。岩瀬伝統の格子「スムシコ」を再現し、港町にふさわしい趣のある支店に改装され、回船問屋街の風情ある町並みづくり復元に一役買いました。



6. ほくぎんアートギャラリーの開設

18年2月2日、地元中央通り商店街の活性化および富山県内の作家の方々に応援する活動の一環として、北陸銀行本店のほくぎん広場側ウィンドウに「ほくぎんアートギャラリー」を開設いたしました。

北海道銀行

1.店舗の新築・移転・統合

ほくほくフィナンシャルグループとして店舗ネットワークの効率化を図るべく、17年12月12日に、創成支店が移転開店いたしました。これは北陸銀行旧苗穂支店（北海道銀行の旧光星出張所跡地に移転済）跡地に新築移転したものです。創成・苗穂地区の基幹店舗として、引き続きお客さまとのお取引を深めていくことを目的としております。

17年12月19日には、緑町支店が新開町4丁目の新店舗に移転し、同時に支店名を「苫小牧東支店」に変更いたしました。新店舗は、イオン苫小牧ショッピングセンターの向かいに広がる複合商業施設内に位置し、市内東側のお客さまにも便利にご利用いただけることを目的としております。今後も、今まで以上に地域に根ざしたサービスを提供し、より一層の支持を得られるよう努めてまいります。



苫小牧東支店

2.北海道の『食』特別商談会の開催

道内の食品・飲料メーカーの販路拡大の支援を目的に17年5月11日に開催いたしました第1回に引き続き、同年9月12日に、第2回「北海道の『食』特別商談会」を開催いたしました。全国各地から数多くのスーパーマーケット経営者やバイヤーを招き、27社の参加企業と意見交換会や商談会を実施しました。また、商談会の実施に加えて、参加企業を対象にフォローアップ・ミーティングを開催し、商談成約に向けた参加企業のサポートを行っています。



北海道の『食』特別商談会

3. 瀋陽市との交流

18年5月16日に、中国東北振興政策の中心都市である遼寧省瀋陽市人民政府と札幌市との共催で「瀋陽 Day in 札幌」を開催いたしました。このイベントでは投資誘致説明会や瀋陽市政府との意見交換会の他、貿易や技術提携に関して瀋陽企業24社と道内企業の間で活発な商談が行われました。

また、同日付で瀋陽市政府の北海道駐在員事務所開設および瀋陽環北工業団地の日本工業パーク設立に関する協力協定を締結しております。

今後も現地情報の収集・還元などを通じてお客さまのビジネス支援体制をより充実させてまいります。



4. 新しい金融手法への取り組み

17年6月10日に、北海道開発局が実施する苫小牧法務総合庁舎整備等事業において、北海道銀行単独の資金アレンジによるプロジェクト・ファイナンス方式の融資契約を締結いたしました。

地方銀行が単独でPFI※の資金アレンジを行う例はまだ少なく、さらに本件は事業の発注者が北海道開発局、事業者の代表企業が北海道内企業、資金アレンジが北海道銀行という北海道初の「地域完結型PFI事業」となり、第1回日本PFI大賞特別賞「地域完結型PFI賞」を受賞しています。

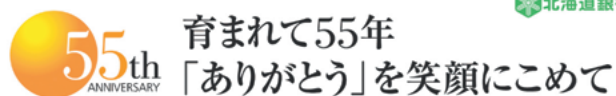
これからも、新しい金融手法に積極的に取り組み、地域金融の一層の円滑化に努めてまいります。

※プライベートファイナンスイニシアチブの略。民間の資金や技術力、経営能力をインフラストラクチャーの建設や維持・管理、運営に活かすことで、効率的な公共サービスの提供を目指す方法です。

5. どんさんこバンク55 (GO!GO!) 運動



18年3月5日より、創立55周年を記念して「どんさんこバンク55 (GO!GO!) 運動」を展開しております。4月22日に旭川地区の全職員が旭山動物園の清掃ボランティアを実施し、5月18日には職員60名が札幌市の大通公園の清掃を行いました。今後も、全店を挙げて地域貢献等に積極的に取り組み、これまで北海道銀行を支えていただいた皆さまに、様々な形で感謝の気持ちをお伝えしてまいります。



6. 証券仲介業務の取扱店拡大

17年4月より道内8カ店で証券仲介業務を開始し、証券口座の開設や外国債券をご購入いただけるようになりました。取扱店舗数は18年3月末時点で、地方銀行で最多規模となる63カ店に拡大しております。17年度は世界銀行債の売出しを3回実施し、既発債につきましても先進国の国債を中心に高格付けの外国債券をご用意しております。また、デリバティブを活用した債券である仕組債の取り扱いも開始いたしました。今後も、お客さまの多様化する運用ニーズにお応えしてまいります。

7. 「遺産整理業務、遺言信託」の取扱開始

17年11月に、相続が発生した際に遺産整理の事務を相続人に代わって行う「遺産整理業務」や、遺言作成のご相談、遺言の保管、遺言の執行を行う「遺言信託」を信託銀行の代理店として道内金融機関で初めて開始いたしました。既に取り扱いしております「事業承継コンサルティング」とあわせて、事業承継や相続に関するご相談にお応えしてまいります。